

もっと安心農産物 セロリー栽培暦 (令和5年)

J A安房 館山市セロリ生産組合

1. 土づくり

<ul style="list-style-type: none"> <li>完熟堆肥を施用する (土壌還元消毒実施の場合は、堆肥は施用しない)</li> </ul>
---

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量	
基肥	有機グレット (6-7-3 有機態 N6)	500kg	
	有機配合 (8-8-8 有機態 N2.6)	40kg	
	または、LPコート (N42)	60kg	
	菜種粕	400kg	

3. 防除

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病虫害	備考 (耕種的防除の実施等)
8月上旬	は種		土壌消毒と土づくりを兼ねて、土壌還元消毒を実施する			○害虫防除のため、ハウス開口部を寒冷抄等で覆う
中旬						
下旬						
9月上旬	移植		トップジンM水和剤 (予)	1500倍	斑点病	○病害を減らすため、育苗ポットの配置間隔を拡げ通気をよくする ○ヨトウムシの発生がある場合は、ランネート45DF1000倍を散布する ※但し、ハウス上部を剥がした時のみ
中旬			カスケード乳剤	4000倍	ハマモグリバエ	○ハマモグリバエ・アブラムシ発生源となるハウス周辺の除草を実施する
9月下旬	定植					
10月上旬			アクタラ粒剤5	2g/株	ハマモグリバエ	○アブラムシの発生がある場合は、アドマイアフロアブル4000倍を散布する
10月中旬			ダエール1000 (予)	1000倍	斑点病	または、モスピラン顆粒水溶性剤4000倍を散布する
10月下旬			アフアーム乳剤	2000倍	ハマモグリバエ	
11月上旬			コテツフロアブル	2000倍	ヨトウムシ	○芯やけした枯死部位から菌核病が感染しやすくなるので注意する
11月中旬	Zボルドー (予)	500倍	腐病病	○斑点病の発生が多い場合は、アミスター20フロアブル2000倍を散布する。		
11月下旬	アフアーム乳剤	2000倍	ハマモグリバエ			
12月上旬			アミスター20フロアブル (治)	2000倍	斑点病	○ヨトウムシ・ハマモグリバエが多い場合はアフアーム乳剤、カスケード乳剤を散布する
12月中旬						○ハマモグリバエの発生が多い場合は
12月下旬			アミスター20フロアブル (治)	2000倍	斑点病	
1月上旬中旬	収穫					○カマダ防除にはスラゴを使用する
1月下旬						